

きずな



事業報告-1 “わが町を知る”

2011年7月23日(土) 午後2時より

第6回地域文化遺産スタディ
「明治期の蓮田―蓮田駅の開設と武州鉄道」を開催
蓮田市図書館観覧ホール 講師：中里忠博 元蓮田市史編さん委員会委員



定員が60名の会場に約100名の参加を得ました。会場が人で溢れるばかりの状況の中、主催者挨拶として田村会長が当協会の活動状況を説明し始まりました。ユネスコ連盟が取り組んでいる東日本大震災の子供支援募金の協力を参加者に呼びかけ、

事業報告-2 文化遺産めぐり

37度以上にもなった酷暑も一段落し、時々小雨も混じる涼しい中、行田市にある「さきたま古墳群」を中心に文化遺産巡りを開催しました。参加者は12名でした。行田市教育委員会文化財保護課：主幹 中島洋一さんの案内で遺産巡り散策。県立さきたま史跡博物館では稲



荷山古墳より出土の国宝：金葉紋鉄剣。古墳を取り囲む埴輪の見方について学術的詳細な説明を受け、剣身に刻まれた銘文の美しさには感動しました。昼食後、将軍山古墳：古墳

寄付協力をいただきました。事前に聴覚障害者から参加の問い合わせを頂き、蓮田市のご協力を得て、当協会では初めて手話通訳者を配置しての開催となりました。中里講師より①東北線の開通の経緯②蓮田駅の開設に至る市民の騒動活動③幻の鉄道と称された武州鉄道の歴史に関して、当時の世界情勢や日本の経済・社会事情を含めわかりやすく説明、明治を中心とした蓮田を含む日本の鉄道の歴史を学ぶことができました。参加者より「郷土の文化遺産に対する



第3回 文化遺産めぐり
埼玉古墳群・県立さきたま史跡博物館。行田市郷土博物館の見学

8月21日(日)
行田市郷土博物館では、鎌倉時代：武家台頭の時代から江戸時代：足袋の生産地として栄えた明治・昭和初期までの行田市の歴史展示を堪能しました。案内役の中島さんは「足袋蔵」と呼ばれた蔵の保存にも尽力されています。古墳群の保存にはいろいろな問題があったようですが、埼玉古墳群を中心とした世界遺産登録をめざしているとか、ロマンチックな散策でした。



2011年度ユネスコ通常総会と全国大会に参加して

5月27日(金)～5月29日(日)
富山市 国際会議場



第67回日本ユネスコ運動全国大会

日本ユネスコ協会連盟の第62回通常総会が富山市で開催されました。日本ユネスコ協会連盟が社団法人から4月1日をもって公益社団法人へと生まれ変わった節目の通常総会です。冒頭の松田会長挨拶で今回

震災から得た教訓を生かしながら、明日の担い手となる「子どもたちの教育」に役立つユネスコ運動を展開したい、との発言に共感を覚えました。翌28日(土)・29日(日)に「第67回日本ユネスコ運動全国大会in富山」が開催されました。今年日本がUNESCOに加盟して60周年、さらに開催地の富山ユネスコ協会60周年の節目の大会として、テーマは「持続可能な社会の実現に向けて」―真の豊かさとは？地球市民として出来ること―でした。大会を通じて、地球を守りわが町を守るに



併設「私のまちのたからもの」展

関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 成田

10月15日(土)～10月16日(日) 成田市成田ビューホテル



当協会から6名の会員が参加



ハロリアンダンスと色とりどりの「レイ」の歓迎で会場は始まりました。基調講演「自然環境と未来遺産運動」と題した、総合地球環境研究所の秋道氏の補講としたお話しは「かわわり」「つなかり」の大切さと意義が突進されていました。シンポジウム「世界遺産活動・未来遺産活動」

ではコーディネーターの巧みなりりで、四人のシンポジストの方々から、意識高揚を目指した、継続性のある活動のための提言が報告されました。活動の活性化に向けてのキーワードをまとめると、①青少年の育成、②よそとの繋がりが、③意識の改革、④視点をかえてみる、⑤郷土愛を芽生えさせる、⑥継続性のある活動、⑦会員の特色を生かす、そして「地域の宝もの」探しを忘れないことではないでしょうか。近年、「全国青年連絡組織」も発足し、そのネットワークの維持・強化が望まれます。夜の宴は、祭り囃子と踊り(あずま下座連)のおもてなしを受け、楽しい交流会を過ごすことができました。二日目は分科会とエクスカーションです。第3分科会に出席しました。[ESD (持続可能な開発のための教育)の推進・ユネスコスクール拡充へどう関わるか]を受けて四つのク



エクスカーションでは、地元の名所「成田山新勝寺」で坊に入り、精進料理の昼食と雅楽鑑賞を堪能しました。ボランティアの人の案内で境内巡拝を楽しみ、歴史文化の体感を持つて成田を後にしました。大変勉強になった2日間でした。
(半田 雄司 記)

会員紹介のコーナー

①出身地等②今までのあゆみ③ユネスコ活動等について

(五十音順、敬称省略)

飯島 剛 (いひじま つよし)



①長野県伊那市出身 中央アルプス、南アルプス等山が綺麗な如いです。学生時代には阿ノアルプス、八ヶ岳連邦によく登りました。

②東北新幹線が大宮開業に合わせ東村山から白岡町に転居。当時電車不便でした。休日は温泉旅行、家庭菜園等を楽しんでいます。③協会設立からのメンバーですが未だ皆様の足を引っ張っています。退職後は活動を広げ地域貢献したいと考えています。

熊倉秀雄(くまくら ひでお)



①栃木県佐野市豊代出身
②昭和47年岩槻に転入、蓮田白岡に近い鹿堂在住。
岩槻の歴史や観光ガイドとして物強し始めたばかりです。
その点で近隣の蓮田白岡の歴史文化にも関心があり、妻の勧めで「地域文化スタディ」に参加しました。③会の活動には寄与出来る力はないと思いますが、何かの役にたてれば幸いです。

田村 勝彦 (たむら まさひこ)



①東池袋生まれ、蒲田で戦災に遭い、父の実家(寄居町用土)で高校卒業まで過ごす。その後、都内に寄居、会社時代は目黒・厚木・大宮と転々、昭和56年蓮田に転居致しました。②卒業後、地産直産で国交正常化前に訪韓(昭和40年)。会社時代、厚木工場などに関わる。2007・7当協会設立を決意、発起人会・設立準備会を経て、翌年3月、設立に至りました。③微力ですが持続する平和文化の構築と地域活性化向上を目指し、連帯感を生む活動に全力を賭す覚悟です。

ユネスコ会員募集

会員を募集しています。ホームページをご覧ください。又は事務局までお問い合わせください。
蓮田・白岡地方ユネスコ協会事務局 後藤志郎
〒349-0141 蓮田市西新宿 4-7-19 TEL090-5567-8556

福地 光男 (ふくち みつお)



①栃木県宇都宮市出身の高校卒業まで宇都宮市で過ごし、その後、札幌と函館で9年間の学生生活でした。その間、東南アジアからの研修生受け入れの手伝いをした折に函館ユネスコ協会の方々の活動に感動しました。③昭和50年より国立極地研究所で同種のプロジェクト研究を続けています。2009年6月に「南極より地球を見る」(会報2号掲載)の講師を務めました。趣味はフライングシンガとテニス等です。

望月 充丈 (もちづき みつたけ)



①名古屋で生まれ、清水市・武蔵野市に育つ。独立後、埼玉に移住。この間、新潟・札幌に転居。
②仕事はツアーリズム一筋、退職後JICAのボランティア活動でナパールに派遣。③住めば故郷、地元への関心も持たたい。富士山の世界遺産へのハードルを研究中。

山崎 茂夫 (やまさき しげお)



①秋田市 秋田(土崎)港出身 佐竹藩港として、北前船の寄港で栄えた港です。②秋田には高校まで過ごし、その後北海道、岩手、群馬、埼玉と転々とし、仕事の都合で蓮田にきたのが1972年の春。蓮田に居る時に結婚し、何とはなしに住んで39年経ちました。住んでみて良かった事は「自然災害の少ない静かな町」という所でしょうか。③ユネスコには設立当初より会員として参加し、さまざまな事教えていただいております。一昨年より会報編集の仕事を手伝っています。

書損じハガキ回収キャンペーン

書損じハガキが寺子屋運動(海外の子供の支援)に役だっています。よろしく協力お願いします。ユネスコ協会行事開催時に会場までお待ちいただくか協会事務局まで郵送ください!

事業報告-3「寺子屋講座」

第2回寺子屋 講座開催 「大震災に遭遇した少年との出会い」
2011年10月29日(土) 蓮田市中央公民館 講師：金盛 日出子



兵庫県加古川市で子供の教育に携わっていた1985年に阪神淡路大震災が発生。震災現場で母親を失った1人の少年との出会いを通じての話をさせていただきました。子供の悲しみに接して、金盛さんが少年を抱き

しめ少年頭の上に流した涙を平成15年に再会した際、少年は昨日の事の様に覚えていたのです。「梁く傷ついた子供の悲しみや思いを真正面から受け止め、子供の心になってやる事が大切で、上っ面の言葉だけでは子供の心には何も伝わらない」と言う事でした。最後に「あたりまえのことか?」 神奈川・小学5年 佐藤裕子さんの詩が紹介されました。「食べられること/ねむれること/学校へ行けること/友達で遊べること/

家族と話せること/大人が仕事をすること/健康で安心なこと/それはあたりまえだった/それが幸せに変わった/平成7年1月17日、阪神大震災が私に残した事」(「こどもの詩」川崎 洋編 文春新書より) 神奈川県の子供が被災地の様子を報道等で見えて感じた詩という事です。最後に金盛さんより「子供は大人以上に分かっているのです。子供の心になって大人達はやさしく接してやってくさいね」と。

2011年度(4月~10月)の主なあゆみ

月	日	活動内容	会場等
4	24	2011年度総会・第1回寺子屋講座	蓮田市図書館
5	27	第62回日本ユネスコ協会連盟総会	富山市
	28・29	第67回日本ユネスコ運動全国大会 in 富山	国際会議場
6	1	会報5号発行	
7	23	第7回地域文化遺産スタディ「明治期の蓮田」	蓮田市図書館
8	21	第3回文化遺産めぐり「埼玉古墳群」	行田市
10	15・16	関東フロッック・ユネスコ活動研究会 in 成田	成田市:ビュホレ
	29	第2回寺子屋講座	蓮田市中央公民館

※理事会：6/18、9/3、10/29、に開催。 編集委員会：4/16、5/14、8/27、10/22に開催。

2011年度(11月~3月)の主な活動計画

月	日	活動内容	会場等
11		書損じハガキ回収キャンペーン開始(11~3月)	
	27	第6回国際文化スタディ「世界を知る」	はびすしらおか
12	上旬	会報6号発行	
2	26	第8回地域文化遺産スタディ「明治期の白岡」	はびすしらおか
	未定	第4回文化遺産めぐり	蓮田市文化財展示館

編集後記

2011年3月11日：東日本大震災・津波災害、福島第一原子力発電所停止・放射線被害事故、後世に語り継がれるであろう数珠の年も年の瀬を迎えようとしております。復旧・復興が順調に進み、2012年が心穏やかな日々であります事を祈るばかりです。会報は会員相互のきずなを築く事を目的としています。会報について皆様よりのご意見・ご感想はもとより皆様方からの発行や感想などをどしどしお寄せください。12月吉日 山崎茂夫

【会報編集委員会】 委員：江口、金盛、長谷川、半田、望月、山崎、若林
発行人：蓮田・白岡地方ユネスコ協会 会長 田村勝彦 〒349-0141 蓮田市西新宿 3-55-15
蓮田・白岡地方ユネスコ協会ホームページ <http://www.unesco.or.jp/nasuda-shiradka/>